

年 組

名前



ベコ太郎

南会津 探究学習ワークブック



ワークブックの目的

南会津地域は、東北地方の一番南に位置する福島県の南西部に位置し、その約93%が森林で占められている自然豊かな地域です。

また、豊かな自然がもたらす高品質の農作物や、先人の知恵と伝統が生み出す郷土料理などの魅力がいっぱいです。今回の南会津への旅行では、それらの魅力に触れて、南会津の人々の暮らしを見て・聞いて・感じてみましょう。

このワークブックを使って、南会津地域の魅力や課題について探究的に考えることで、自分の住む地域や身のまわりの課題に対しても「探究的な見方・考え方」を働かせて解決する力を身につけることをねらいとしています。

学びの3 STEP

STEP 1 事前学習

南会津の魅力と課題を知り
探究テーマを設定する

STEP 2 現地学習

南会津に住んでいる人に
実際にインタビューをする

STEP 3 事後学習

選んだテーマについて自ら
学んだことをまとめ、発表する

STEP 1 事前学習

1. 南会津地域について知ろう

地理・気候

南会津地域は、福島県の南西部に位置し、南会津郡の3町1村（下郷町・檜枝岐村・只見町・南会津町）からなっています。面積は、神奈川県とほぼ同じ2,341.53km²と県土の17.0%を占め、その93.1%は森林となっています。

周囲は山に囲まれ標高が高く、朝晩の寒暖差が大きいことも特徴で、夏は涼しく過ごしやすいですが、冬は寒さが厳しく積雪が4mを超えるところもあり、日本でも有数の豪雪地帯です。

歴史・自然

南会津地域は江戸時代中期、南山御蔵入領（現在の南会津町・下郷町・只見町・三島町・金山町・昭和村の一带）と呼ばれ江戸幕府の直轄支配地でした。

その後も会津西街道の主要宿場町として栄え、大内宿（下郷町）は当時の景観を残しています。

その他にも、豊かな自然が育んできた伝統や文化、郷土料理などが受け継がれており、鎌倉時代が起源とされ日本三大祇園祭の一つとされる会津田島祇園祭（南会津町）や福島県の重要無形民俗文化財にも指定されている檜枝岐歌舞伎（檜枝岐村）などを見ることができます。



データ

	面積(km ²)	人口(人)	標高(m)	人口密度 (人/km ²)
下郷町	317.04	4,986	496.77	15.7
檜枝岐村	390.46	503	939.00	1.3
只見町	747.56	3,828	377.00	5.1
南会津町	886.47	13,733	550.00	15.5
南会津郡 計	2,341.53	23,050	—	9.8
(福島県)	13,784.39	1,795,219	67.88	130.2

出典（人口）：県内各市町村住民基本台帳人口・世帯数（R6.1.1時点）市町村行政課



大内宿の名物である〇〇そば。箸ではなく
〇〇を使って食べますが、その〇〇とは？

南会津地域について更に調べてみよう

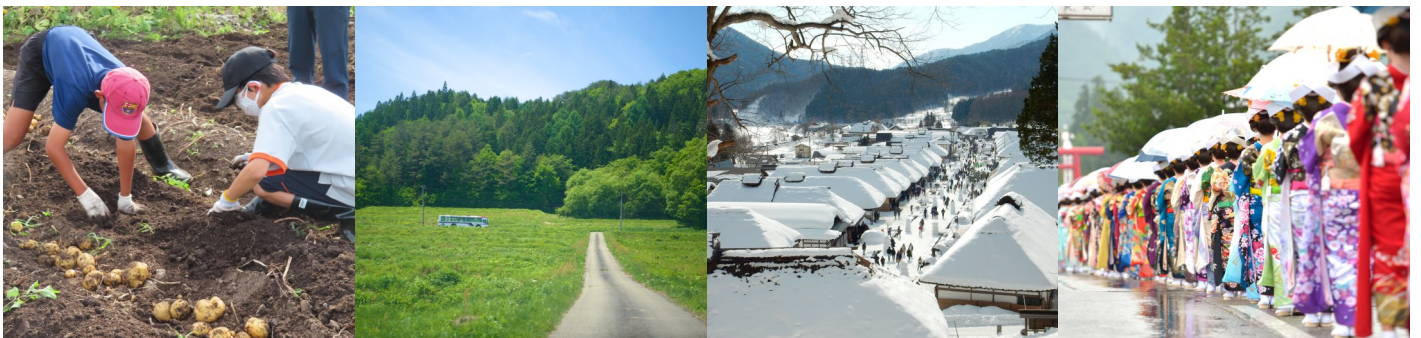
このほかに、南会津について気になったことを、キーワードも参考にしながら調べて書いてみよう。

キーワード：尾瀬国立公園 温泉 ユネスコエコパーク 雪 スキー場

南郷トマト 会津田島アスパラ そば しんごろう 南会津（清酒）

自分が住んでいる地域と比べてみよう

南会津と自分が住んでいる地域とを比べて、違うところを考えてみよう。また、その理由も考えてみよう。



2. 南会津地域の魅力と課題とは？

南会津の魅力と課題を4つのテーマに分けて紹介します。4つのうち、どのテーマを探究するか検討しよう。

テーマ1 南会津の農産物と原子力災害による影響

豊かな農産物と山の幸

南会津は標高が高く、昼夜の寒暖差が大きいため、食味などの品質が良好なトマトやアスパラガス、そば等が多く生産されています。また、豊かな自然に育まれた、山菜やきのこの等の山の幸も豊富です。

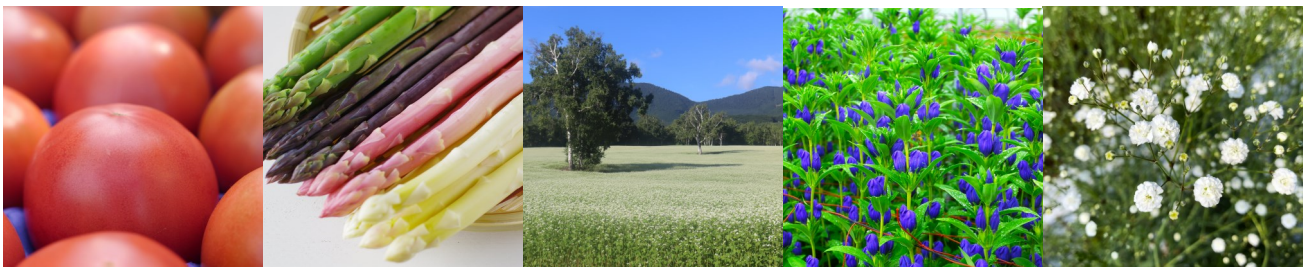
原子力災害による影響

福島県は、2011年（平成23年）3月に発生した東日本大震災により、大地震・津波・原発事故とかつてない甚大な被害を受けましたが、南会津地域は建物の倒壊等の被害はほとんど無く、東京電力福島第一原発から直線距離で百キロ以上離れたところに位置していることから、空間線量も国の基準値を下回っていました。

しかし、山菜やきのこの等の出荷制限や、風評による販路の縮小と市場価格の下落などの事態に直面しました。

【参考】東日本大震災 本震の震度（気象庁）

南会津町	5弱
下郷町	5弱
只見町	4
檜枝岐村	3



テーマ2 南会津のグリーン・ツーリズムと人口減少・高齢化

南会津のグリーン・ツーリズム

南会津は、美しい自然と日本の原風景が残る地域で、その自然や文化、人々との交流を楽しむことができる場所がたくさんあります。農業体験や郷土料理作り体験、森林散策や川遊び、冬にはスキーや雪国生活体験なども可能で、県内外から観光客が訪れています。

南会津ならではの四季折々の体験を是非味わってみてください。

人口減少と高齢化

若者の地域外への流出や出生率の低下等を理由とした人口減少・高齢化が進行しており、地域産業が落ち込んだり医療などのサービスが提供しにくくなるなど、地域コミュニティを維持することが難しくなっており、地域の歴史や伝統文化の継承も難しくなっています。

農林業においても、担い手不足が課題であり、食料自給率の低下、耕作放棄地の増加による景観の悪化、農業・農村や森林の有する多面的機能の喪失などの問題が生じています。

食料自給率とは？

食料自給率とは、我が国の食料供給に対する国内生産の割合を示す指標です。

その示し方については、単純に重量で計算することができる品目別自給率と、食料全体について共通の「ものさし」で単位を揃えることにより計算する総合食料自給率の2種類があります。このうち、総合食料自給率は、熱量で換算するカロリーベースと金額で換算する生産額ベースがあります。

耕作放棄地とは？

耕作放棄地とは、5年に一度調査が行われる「農林業センサス」で定義されている用語で、「以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付け（栽培）せず、この数年の間に再び作付け（栽培）する意思のない土地」であり、農家等の耕作意思の調査結果となります。

多面的機能とは？

農業・農村や森林は、私たちが生きていくのに必要な米や野菜、木材などの生産の場としての役割を果たしています。しかし、それだけではありません。農村で農業が継続して行われていることや森林が適正に管理されることにより、私たちの生活に色々な『めぐみ』をもたらしています。このめぐみを「農業・農村や森林の有する多面的機能」と呼んでいます。例えば、水田や山は雨水を一時的に貯留し、洪水や土砂崩れを防いだり、多様な生きものを育み、また、美しい農山村の風景は、私たちの心を和ませてくれるなど大きな役割を果たしており、そのめぐみは、都市住民を含めて国民全体に及んでいます。

テーマ3 南会津の安全・安心な農産物と産地の維持

安全で魅力的な農産物

福島県は食品の安全性向上や環境保全などを目的としたGAPの取組を推進しており、南会津地域も例外ではありません。南郷トマト生産組合では、組合員全員がGAP認証を取得し消費者に信頼される農産物づくりを行っています。また、南会津町、只見町、下郷町で生産され、JAの共同選果場から出荷される「南郷トマト」は農林水産省の地理的表示（GI）保護制度に登録されています。さらに、アスパラガスとして初の地域団体商標を取得した会津田島アスパラのほか、県オリジナル品種の作付など、特色ある農作物の産地として有名な地域です。

取組の発信と産地の維持

安全・安心で環境に配慮した農産物の需要が高まっており、南会津地域もGAPの取組を推進していますが、GAPの取組について消費者にもっと知ってもらう必要があります。

また、高齢化や後継者不足による農業担い手不足が深刻化しており、産地の維持が難しくなっています。

GAPとは？

GAPは、Good Agricultural Practicesの頭文字をとった言葉。食品の安全確保を始め、環境保全、労働安全などの観点から、適切に農業生産を実施するための管理ポイントを整理し、それを記録・検証してより良い農業を実践するための手法のことです。

地理的表示（GI）制度とは？

「地理的表示（GI）保護制度」は、その地域ならではの特性を持つ産品の名称を、生産地・特性・生産方法等の基準とともに登録し、保護する制度です。登録された地理的表示を使用できるのは登録した基準を満たす商品だけなので、消費者は信頼して商品を選択することができます。

地域団体商標とは？

地域団体商標制度は、地域の産品等について「地域名」と「商品（サービス）名」からなる地域ブランドを保護するものであり、登録を受けることで、信用やブランド力、訴求力の向上にもつながります。

テーマ4 南会津の特色ある6次化商品と生産・販売

特色ある6次化商品

福島県では、豊かな農林水産資源を基盤として、様々な地域資源（人・技術、資源、伝統・文化）を活用した農林業の6次産業化（6次化）の取組を推進しています。

南会津でも、南会津の特色を活かした様々な6次化商品が生産されており、直売所や道の駅、オンライン等で販売されていますので、是非探してみてください。

加工や販路拡大、商品PR

農作物を6次化商品に加工し、付加価値を付けて販売することは、農業者の収入向上に貢献しますが、加工するための技術や人員が不足していたり、設備投資にお金がかかってしまうという問題があります。また、販路の確保なども考えなくてはなりません。

南会津の6次化商品のなかには、認知度が低いものもあり、消費者にどのようにPRし訴求するのかということも課題となっています。

6次産業化とは？

6次産業化とは、農業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや販売などの3次産業まで含め、1次から3次まで一体化した産業として農業の可能性を広げようとするものをいいます。



？ 南郷トマトを冷やして出荷するために使用する南会津ならではのものは？

南会津の魅力と課題を読んで気づいたこと、疑問に思ったことを書いてみよう。



3. 探究テーマを選ぼう

私が探究するテーマは _____ です。

このテーマを選んだ理由

選んだテーマについて、インターネット等でさらに調べ、わかったことを書こう。



(南会津のさらなる魅力、課題に対する取組など)

選んだテーマについて、南会津地域の人にインタビューしてみたいことを書こう。



(実際に住んで生活していて、日頃、南会津の魅力や課題について感じていること、南会津の自慢したいところや困っていることなど)


STEP 2 現地学習



選んだテーマについて、南会津の人に実際にインタビューしてみよう。

インタビューの内容（いつ・誰に・何を聞いたか等）

インタビューをしてみてわかったこと、気づいたこと

南会津で過ごして気づいたこと・感じたことをなんでも書いてみよう。 

それは、自分が住んでいる地域と比べるとどうでしょうか。

STEP 3 事後学習

選んだテーマについて、現地学習でわかったことを踏まえて魅力と課題をまとめよう。

南会津の**魅力**について

南会津の魅力とは？

その魅力を誰に伝えたらいいと思いますか。

その魅力をどのような方法で発信したらいいと思いますか。

南会津の**課題**について

南会津の課題とは？それはなぜ起きている？その背景は？

その課題を解決するにはどうしたらいいと思いますか。

その課題を解決するために、あなたは何ができるでしょうか。

まとめたことを発表し合おう。他の人の発表の内容や気づいたことを書こう。

それぞれの課題に対する南会津農林事務所の取組の一部を紹介します。

農林業の持続的な発展を支える基盤の強化

次世代の地域農業を担う青年農業者の確保を図るため、新規就農希望者の相談や研修の実施支援、青年農業者組織活動の支援を行っています。

また、担い手に対し農用地の集積・集約化を進め、作業効率の向上・低コスト化を図ることにより、収益性の高い経営体を育成するため、農地流動化関連事業の円滑な実施について各町村への支援を行っているほか、担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るため、農地の大区画化や汎用化等の農地整備を実施しています。

安全で魅力的な農林産物の供給

南会津地域産の農林畜産物の安全性確認及び国民の健康被害を防止するとともに、野生の山菜・きのこ等の出荷制限解除のため、農林畜産物中の放射性セシウム濃度のモニタリング検査を実施しています。また、直売所等への出荷制限品目等の陳列販売を防止し、南会津地域の農林産物を安心して購入してもらえるよう、巡回調査を行ったり、モニタリング検査情報に関する広報や説明会を行っています。

他にも、南会津地域産農産物の安全性や品質を確保するため、第三者認証GAP等の新規取得や継続に当たって技術的な助言・指導を行うほか、GAP認証取得に要する経費の一部を補助するなどにより支援を行っています。特にトマト、アスパラガス、りんどう、宿根かすみそうについては、町や関係団体と連携し、団体が行う新規栽培者の研修時の技術的な助言や産地生産力の維持発展を目指して各種の支援を行っています。

活力と魅力ある農山村の実現

南会津産農林産物の販売・消費の拡大を図るため、販売促進活動やパッケージの作成など産地や生産物の魅力が消費者に伝わる商品づくりに対して支援をしたり、地域資源を活かした新たな商品開発、販路拡大を支援し、南会津の魅力を発信する6次化商品の開発を支援しています。

また、生産者団体等が行う、国内において県産農林産物や6次化商品の販売・消費の拡大を図るための販売促進活動等に対して必要経費を補助しています。

他にも、南会津地域の農業・農山村において農作業を体験する機会を提供し、新規就農希望者の誘引を図るとともに、都市居住者等と農林漁業者との交流を促進しています。

▼南会津地域の魅力を発信しています。是非御覧ください。

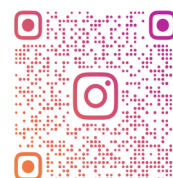
福島県農林水産部公式YouTubeチャンネル



農林水産部では、「福島県農林水産部FA宣言」と称し、県産農林水産物や農山漁村の魅力などを、職員自らが直接取材し、動画等により情報発信することで、おいしさや「福島ならではの」魅力を伝えています。

約1400人の農林水産部職員が、自由な発想で企画・制作するYouTubeです。

福島県南会津農林事務所公式Instagram



MINAMIAIZU_NOURIN2



「モスバーガー×南郷トマト」



「@南会津の清酒がGIに指定されました！」

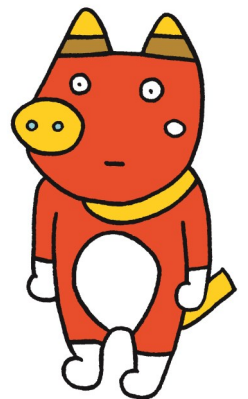
福島県南会津農林事務所のホームページ

福島県南会津農林事務所



4つの酒蔵がある南会津町で制定されている、「南会津町乾杯条例」とは、どんな条例？

メモ



2024年12月発行

福島県南会津農林事務所企画部

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

TEL : 0241-62-5252 / FAX : 0241-62-5256

